



FS

「認知症克服に向けた脳のレジリエンスを支えるリザーブ機能とその増強法の開発研究」

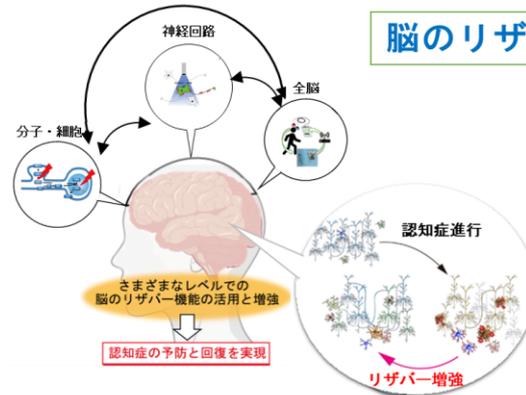
伊佐 正 PM
(京都大学・教授)

100歳までレジリエンス*の高い健康な脳を維持する社会の実現

*レジリエンスとは困難をしなやかに乗り越え回復する力

研究プロジェクト概要

認知症に対する対処法として、従来のアルツハイマー型認知症病理を防ぐ手法と共に、障害を免れた神経細胞の活性化・可塑性の誘導というリザーブ機能を促進し、認知機能を高める方法を開発します。これにより、100歳まで健康な脳を維持できる社会の実現を目指します。



脳のリザーブ機能の活用と増強による認知症の予防と治療

臨床応用に向けた実現可能な技術を提供

炎症制御・エネルギー代謝・細胞移植・代償回路等のリザーブ機能の増強法を開発

多階層（分子・細胞・回路・個体）でリザーブ機能を解明

コホートや臨床データから脳のレジリエンスを高める要素を見つける



2040年までに期待されるブレイクスルー

- 認知症の治療に有望なリザーブ機能を特定する。
- リザーブ機能増強法を開発する。
- 脳のリザーブ機能の活用と増強により、認知症の予防と回復を実現する。

